

ESD for 2030 グローバル・ネットワーク (ESD-Net) について

- 2020年～2030年におけるESDの国際的な枠組み「持続可能な開発のための教育:SDGs実現に向けて(ESD for 2030)」ロードマップに基づき、ユネスコが、ESD for 2030グローバル・ネットワーク (ESD-Net)を立ち上げ。
- 2023年を第1回として、隔年でESD-Netのグローバル会合を開催予定。

【設立目的】

- 国レベルのイニシアティブの代表者(政府機関やNGOなど)と他のパートナー組織(個々の機関、国連のパートナー、開発コミュニティ、ドナー機関)との間の対話、パートナーシップ、連携を促進すること。
- ESD for 2030の実施に関連する教訓やベストプラクティスを共有し、ピア・トゥ・ピアの学習機会を提供すること。
- ESDに関するグローバルなアドボカシーの一環として、SDGsに対するESDの継続的な貢献に注目を集めること。
- ESD for 2030の実施に向けた進捗状況を報告・モニタリングすること。

第1回ESD-Net2030グローバル会合について

- 主催 ユネスコ、文部科学省(ユネスコ信託基金で開催支援)
- 共催 国連大学
- 期間 2023年12月18日(月)～20日(水)(3日間)
- 場所 国連大学(東京都渋谷区)
- 予定議題
 - 各国におけるESD for 2030ロードマップ及び国内イニシアティブの策定・実施状況の共有及び促進
 - ESDに関する活動や最新の研究成果の共有(日本のESDの優良事例の紹介を含む)
 - 今後2年間のアクションプランの検討 等

一部オンライン配信あり
(日本語通訳付き)

(参考) ESD-Net各地域会合について

- グローバル会合での議論に先立ち、本年、世界各地域で地域会合を開催。
 - ◆5月3日～4日(エチオピア) ◆6月12日～14日(インドネシア) ◆6月26日～27日(フランス)
 - ◆8月29日～31日(アルゼンチン) ◆10月中(アラブ地域)